

10年後の大企業 急成長4000

社 全情報

特集

加速するベンチャーへの投資
大企業の参入で淘汰は必至

ベンチャー大異変

ベンチャー企業への投資が拡大している。

会社設立後わずか三年の「社会人向け教育ポータル会社」IQ3（アイ・キュー・スリー）は、この三月に実施した第三者割当増資で、米系投資銀行を中心に実に三〇億円を超える資金を調達した。

同社は、英会話講座から慶應義塾

大学や一橋大学のビジネスマン教育講座までをネットを通じて会員に提供する受講料収入と、ネット上で全国の人向け学校紹介を行なうことによる広告収入を収益の柱としている。

米国では「インターネットの次世代のキラークンテンツは教育」といわれているものの、「正直言って想

ベンチャー企業を取り巻く環境が激変している。ベンチャー企業への投資は拡大し、インキュベーション会社も増えた。ここに来て、大企業とのアライアンスの動きも盛んになっている。ベンチャー企業にとっては、成長のチャンスである反面、淘汰の時代が訪れようとしているのだ。（文中敬称略）
（本誌・石田哲哉／古木謙太郎／竹田孝洋）

ベンチャー企業を取り巻く環境変化

ベンチャー・キャピタルの
投資額だけで
推定 **3000** 億円

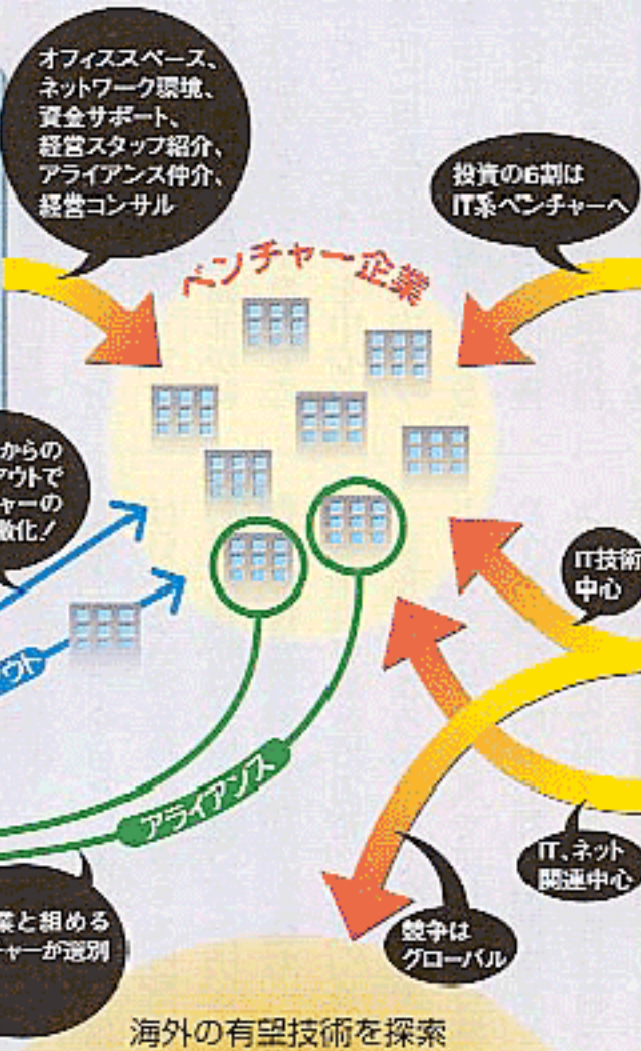
インキュベーション・サービス

●コンサルティングファーム

- アンダーセンコンサルティング
「ドットコム・ローンセンター」
- マッキンゼー・アンド・カンパニー
「@マッキンゼー」
- インテラセット……

●インキュベーション専門会社

- ソフィアバンク
- サンブリッジ
- ビジネスカフェジャパン



資金

●ベンチャー・キャピタル

- 証券会社系
ジャフコ、エヌ・アイ・エフ ベンチャーズ……
- 銀行系
住銀インベストメント、興銀インベストメント……
- 生損保系
ニッセイ・キャピタル、東京海上キャピタル……
- 外資系
シュローダー・ベンチャーズ、
エイパックス・グロービス・パートナーズ……
- 独立系
日本テクノロジー ベンチャー パートナーズ
テクノベンチャー……

●国内大手企業

- 三菱商事、伊藤忠商事、ソニー、日立、NTT……

●海外大手企業

- デル・コンピュータ(デル・ベンチャーズ・ジャパン)、
コンパック、GEキャピタル、
アンダーセンコンサルティング、A.T.カーニー

●欧米系投資銀行

- ゴールドマン・サックス、J.P.モルガン

像以上に資金が集まった」(坂手康志社長)。

キオスク端末によるデジタルカメラのプリントサービス、インターネット経由のデジタル画像プリント宅配サービスなどを事業化したデジタルは、一九九六年に設立された。社長の江端浩人は伊藤忠商事の出身、スタンフォード大学への留学から帰国後、三四歳のときに一人で会社を興した。

会社設立前からビジネスプランの作成などを手伝った飯屋蘭聡一(エイパックス・グロービス・パートナーズ、パートナー)は、「CDがレコードに取って代わり、デジタルがアナログを駆逐した。デジタルカメラの普及にともなって新しい市場ができる」と読んだ」と振り返る。

しかし、設立当初は資金で苦労した。そこで、事業にかかわるコストを下げるための資本政策を練り上げた。流通チャネルの確保を目的にCC(カルチャー・コンピニエンス・クラブ)、サーパー関連の運用サポートを目的に伊藤忠テクノサイエンス、そしてキオスク端末の技術開発力の提供を目的にオムロンといった具合に戦略的出資を仰いだのである。

ビジネスが順調に回りはじめた最近では、数度にわたる資金調達で、ジャフコ、ニッセイ・キャピタル、

大和SBCMなど十数社から一六億円の資金を得た。

トヨタのガズー事業において、全国二万カ所のGタワに搭載されるなど、大企業との提携も順調だ。

**本物のベンチャーを求めて
投資額は拡大の一途**

ネットバブルの崩壊がいわれて久しいが、ベンチャー・キャピタル各社の投資意欲は旺盛だ。ベンチャー・キャピタル大手のジャフコは、国内だけで九九年の投資総額は二〇二億円だったが、今年度は二五〇億円を超える見通しだ。投資先の六割以上はIT関連企業だ。

「確かに投資対象を選別する目は厳しくなった。しかし、将来性のある技術や、特定分野で圧倒的な強みを持つベンチャーに対しては、積極的に投資したい」(大手ベンチャー・キャピタル)

次世代のウェブコンテンツ言語といわれるXML関連ソフトの開発会社インフォテリアや、ネットオークションのDENAのスタートアップに投資してきた日本テクノロジーベンチャーパートナーズ投資組合代表の村口和孝は、「世界に通用する日本の技術を事業として持ち上げるために投資することはベンチャー・キャピタリストの使命」と語る。

昨年の同投資組合のファンドは三

億三〇〇〇万円だったが、今年はず
でに五〇億円を集めている。

雪崩を打って始まった 大企業のベンチャー投資

ベンチャー投資に積極的なのは、
ベンチャー・キャピタルばかりでは
ない。

三菱商事では、新機能事業部金融
事業部の傘下にあるベンチャー・キ
ャピタル会社ミレニアベンチャーが
すでに投資を始めており、年内に公
開する会社も一三社ある。

事業投資の全体は経営企画部が統
括するが、外部のファンドを通して
の投資も含め、ベンチャーを中心と
する有望案件に用意された社内のフ
ォンドはおよそ一〇〇〇億円に上る。
こうした投資は、従来型商権の獲
得や取引の拡大を目的とした事業部
による投資とは明らかに異なる。「投
資先の価値を上げ、公開や売却によ
るキャピタルゲインを狙う、財務重
視の投資である」(三菱商事新機能事
業グループ・猪熊英行次長)。

案件の審査や事業内容の評価にあ
たっては、法務、財務、各事業部の
専門家が協力する。「情報力、直接金
融のスキルなど商社本来の強みを生
かせば、ベンチャー・キャピタルと
して成果を期待できるはず」(三菱商
事戦略研究所・藤山知彦所長)と自
信を隠さない。

目的こそ商社と異なりはするが、
メーカーの動きも活発だ。

ソニーは、グループヘッドクオー
ターに戦略ベンチャー投資部を置い
て、グローバルレベルで次世代の技
術を探索している。暗号技術の米國
NTRONクリプトシステムズ、半導
体メーカーのトランスメタ社への投
資はベンチャー投資部が主導した。

「ビジネスが多様化するなか、すべ
てのインフラを自社で揃えるわけに
はいかない。今後のビジネス展開に
必要な技術や資源を持つベンチャー
企業に投資をする」(ソニー戦略ベン
チャー投資部・内田裕之統括部長)

現在のところ、米國で一〇社、イ
ギリスで一社、日本で二社の投資実
績がある。国内の二社は携帯電話の
ユーザーインターフェースに技術を
持つインターネットナンバーとウェ
ブ関連のアクセスで、いずれも投資
額は一億七〇〇〇万円。

今後は、既存事業とのシナジーが
みえてきた段階で各事業部が追加投
資を行ない、事業として育てていく
方向もありうる。

H立製作所も、経営トップ直轄で
一〇〇億円の「コーポレート・ベン
チャー・ファンド」を設立し、国内
および海外の優秀な技術を求めて、
ベンチャー企業への投資を始めた。
「日本の大企業も、バリエーション

のすべてを目前でやることの効率
の悪さに気がついてきた証拠」(イン
テラセット・荒木隆司代表)に伝統
的な大企業とベンチャー企業の提携
はいまや珍しくない。

一方ベンチャー企業にとっては、
大企業とアライアンスを組むことで、
ブランド、販路、人材などのインフ
ラを活用することも可能になる。

インキュベーションは本格化 ベンチャーは淘汰の時代へ

ベンチャー企業へのインキュベ
ションサービスも本格化してきた。

アンダーセンコンサルティングは、
新しくドットコム・ローンチ・セン
ターを発足し、eビジネスを中心と
するベンチャーの立ち上げとインキ
ュベーションに本格的に乗り出して
いる。

単なるインキュベーションにとど
まらず、自前のベンチャー・キャピ
タルであるACベンチャーズを通し
て資金の供給も行なう。コンサルタ
ントが転籍のかたちで異動し、経営
に参画することも珍しくない。

もちろん投資の決定には厳しい選
考があるが、投資先企業に対しては、
全世界の情報網を駆使して、提携戦
略、市場開拓などのサポートを行な
い、企業価値を上げる。
マッキンゼー社の@ (アット) マ
ッキンゼーは、直接の資金提供こそ

しないものの、CMGIなどの米國
のインキュベーター、あるいはベンチ
ャー・キャピタルと提携して資金調
達のサポートを行なう。

マッキンゼー自身はコアサービス
である事業計画および戦略の策定に
特化するが、決済、マーケティング、
物流、ウェブホスティング、シス
テム・インテグレーションなどeビ
ジネスに必要な機能に関しては、國
内・海外の専門企業と提携すること
で、ベンチャー企業の立ち上げをサ
ポートする。

彼らが狙っているのはベンチャー
の育成だけではない。今後多発すると
想定されるベンチャー企業と大企業
との合併、あるいは、これから本格
化するとみられる大企業からスピ
ンアウトした事業の立ち上げと育成で
ある。

流れこむ資金とサポートシステム
によって、ベンチャー企業の成長は
加速されるだろう。しかし、従来ベ
ンチャー同士で競争していた分野へ
の大企業の参入、あるいは大企業が
らのスピニングアウトは、ベンチャー企
業にとって競争の激化を意味する。
ある意味で大企業とも伍していけ
るだけの、差別化された強みを持っ
たベンチャーだけが生き残る時代が
きたのかもしれない。